

取り付け後の確認

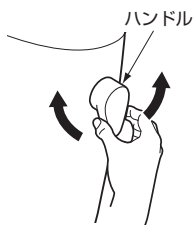
①ロータンクの止水栓を開ける。

②手で便器洗浄を確認する。

ハンドルを手で操作して、便器洗浄が大・小洗浄とも正常に行われることを確認する。

正常に作動しない場合

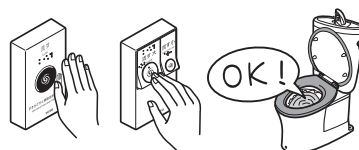
- ハンドルは正しく取り替えましたか？
- ハンドルとジョイントの接続は正しくできていますか？



③リモコンによる便器洗浄を確認する

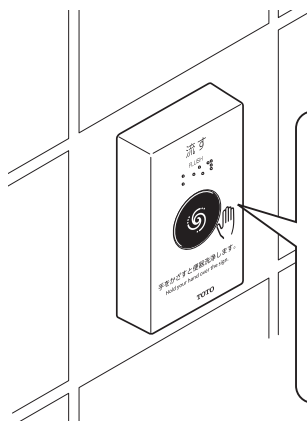
洗浄スイッチを押して便器洗浄を行うことを確認する。

※連続して操作しても作動しません。
10秒以上間隔をとってください。



点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

ハンガーはしっかり取り付けられていますか？

➡ P.7 センサースイッチの場合②
または タッチスイッチ (エコ) の場合①
「ハンガーの取り付け」参照

リモコンはしっかり取り付けられていますか？

➡ P.7 センサースイッチの場合③
または タッチスイッチ (エコ) の場合②
「リモコンの取り付け」参照

TOTO

リモコン便器洗浄ユニット

品番：HE38
HE39

安全に関するご注意	2
同梱部品	3
仕様	4
取り付け前に	4
取付位置の確認	5
各部のなまえと全体構成	6
施工手順	6
取付方法 (リモコン)	7
取付方法 (便器洗浄ユニット)	8
センサースイッチの切替スイッチの調節	18
受信ユニットの切替スイッチの調節	19
取り付け後の確認	20
点検項目	20

■工事内容に応じて指定のページをご参照ください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

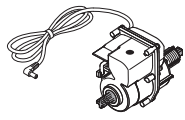
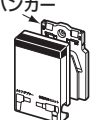
	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

 警告	
 禁止	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わない 火災の原因になります。
	電気器具なので、絶対に水をかけない 故障や事故の原因になります。
	ACアダプターをぬれた手で触らない 感電の原因になります。
 分解禁止	修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理、改造は行わない 故障や感電の原因になります。
 水場使用禁止	水がかかったり、表面に結露が生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームで 使用しない 故障や感電の原因になります。
 必ず実行	ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込む 火災の原因になります。

 注意	
 禁止	器具に強い力や衝撃を与えない 故障や事故の原因になります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 故障や事故の原因になります。
 必ず実行	取り付けの際は止水栓または元栓を確実に閉めてから行う 水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

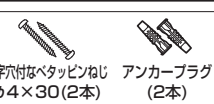
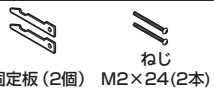
同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器洗浄ユニット	受信ユニット	ACアダプター
 (1個)	 (1セット)	 (1個)

<リモコン：1セット>

ハンガー	リモコン	ねじ	小ねじ
 (1個)	 (センサースイッチ) (または)	 φ4×30 (2本)	 M3×8 (1本)
単三電池	 (タッチスイッチ) (1個)	アンカープラグ	ラベル
 センサースイッチの場合 (2個)		 (2本)	 (1枚)

固定具類	施工説明書	取扱説明書
 十字穴付なべタッピンねじ φ4×30(2本) アンカープラグ (2本)	 (1部)	 (1部)
 固定板 (2個) M2×24(2本) (2袋)		

ハンドル	ストッパーL (緑)
 (1個)	 (1個)
回り止め	スペーサー (丸形)
 (1個)	 (1個)
サンドペーパー	
 (1枚)	
シール	ナット
 (1枚)	 (1個)
皿ねじ (ストッパー用)	
 φ3×10 (1本)	
コードフック	
 (7個)	

仕様

電源	駆動部	AC100V 50/60Hz	電源コード長さ	1.9m
消費電力	常時1.1W 駆動時30W	主要材質	ABS樹脂	
周囲使用温度範囲	0~40℃			
感知距離 ※1	135mmまたは105mmに設定可能 (工場出荷時は135mm)			
手かざし時間 ※1	0.5秒または1秒に設定可能 (工場出荷時は0.5秒)			

※1 センサースイッチの場合。設定方法は18ページを参照ください。

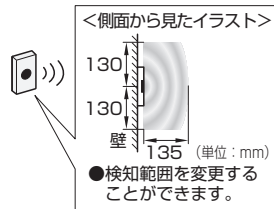
取り付け前に

1. 取り付け前のご注意

1. 下記の場合を避けて、リモコンを取り付けてください。
リモコンが誤作動する原因になります。

- センサーの検知範囲内に障害物がある
- 入退室などの際に、センサーの検知範囲内を通る可能性がある
- センサー機器同士が向かい合っている
- 直射日光が当たる
- リモコン正面に鏡やステンレスなど反射しやすいものがある

センサーの検知範囲



2. センサー部にキズを付けないようにしてください。

2. その他

- 水道工事と電気工事は、十分工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- 電気製品ですので**受信ユニットや、ACアダプター、リモコンに水をかけない**ようご注意ください。
また**浴室内では使用しない**でください。
- **電源はAC100V (50/60Hz)**です。当商品と他の電気機器を併設する際の電源用コンセント併設に関しては、必ず**電気工事店様**にご依頼ください。
- 当商品はすべて**右ハンドル専用**品です。

取付位置の確認

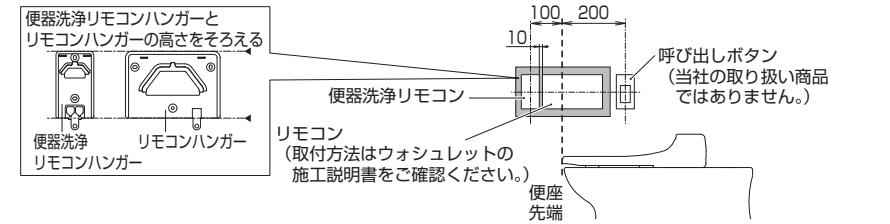


警告

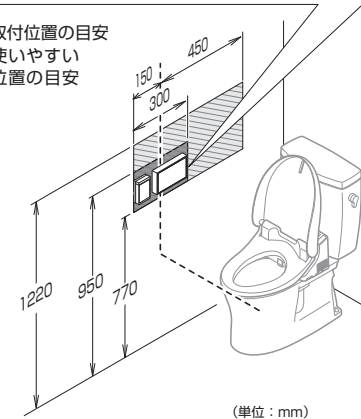


止水栓の真下やまわりにリモコンや受信ユニットを置かない
結露などにより火災や感電、故障の原因になります。

公共トイレ操作系JIS (JIS S 0026) に対応する場合は、下記位置に取り付けてください。



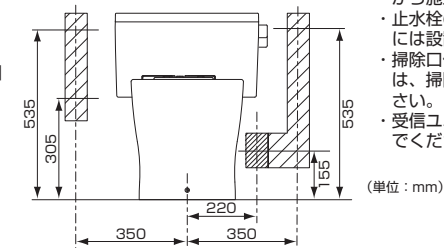
斜線...取付位置の目安
灰色...使いやすい
位置の目安



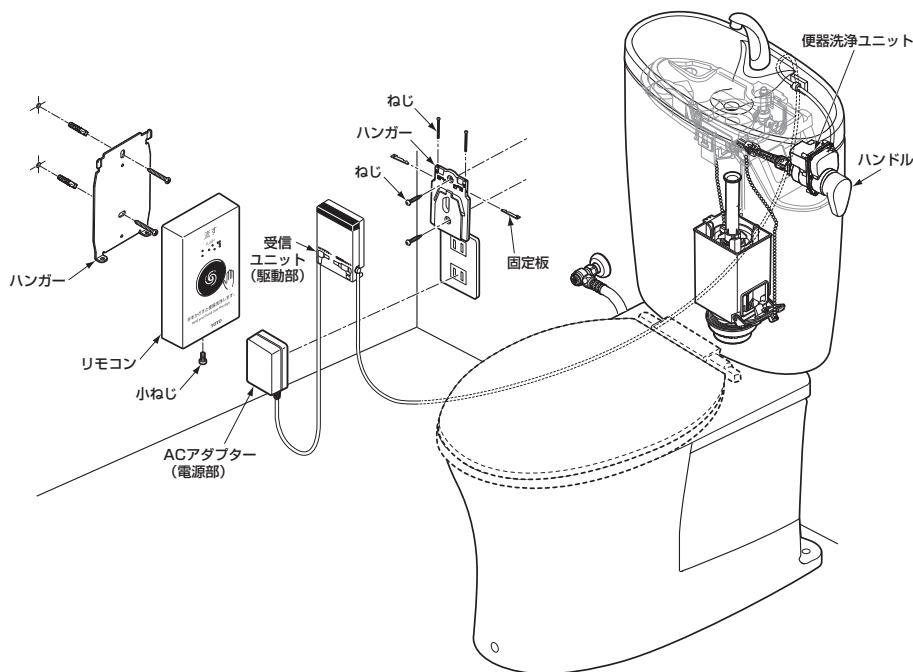
受信ユニットの取付位置

受信ユニットの取付位置を確認する。

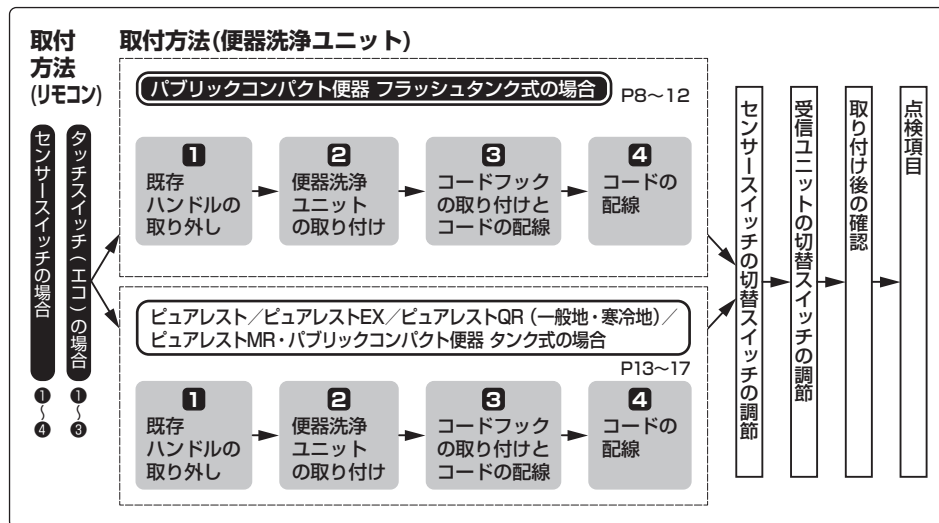
斜線...受信ユニット推奨位置
斜線...受信ユニット設置可能範囲



- ・サイドカバーがある場合は取り外してから施工してください。
- ・止水栓の下や給水ホースが触れる位置には設置しないでください。
- ・掃除口付きの大便器とセットする場合は、掃除口の反対側に取り付けてください。
- ・受信ユニットの前に金属物を置かないでください。



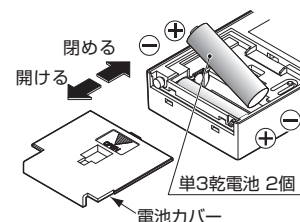
施工手順



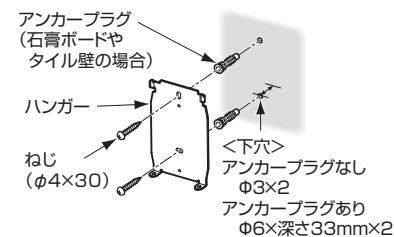
取付方法 (リモコン)

センサースイッチの場合

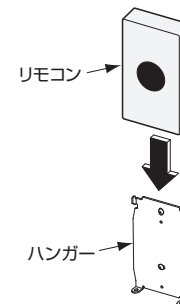
- 1 リモコンに電池を入れる
リモコン裏面の電池カバーを開け、単3乾電池2個を正しく入れる。



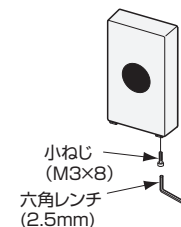
- 2 ハンガーをねじで壁に取り付ける



- 3 リモコンをハンガーに取り付ける

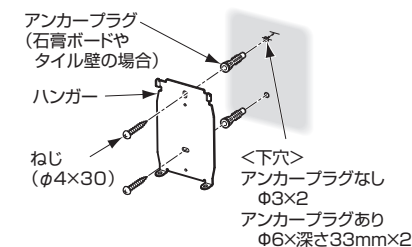


- 4 ハンガーとリモコンを小ねじで固定する
※小ねじが止まったあとも、さらに締め付けると、ハンガーなどが破損するおそれがあります。

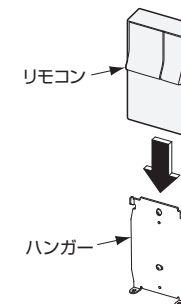


タッチスイッチ(エコ)の場合

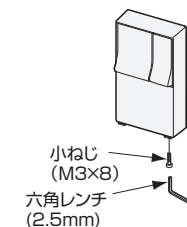
- 1 ハンガーをねじで壁に取り付ける



- 2 リモコンをハンガーに取り付ける



- 3 ハンガーとリモコンを小ねじで固定する
※小ねじが止まったあとも、さらに締め付けると、ハンガーなどが破損するおそれがあります。



取付方法（便器洗浄ユニット）

【商品別該当品番】（タンク）一覧表

下記表を参考にして、該当商品を選び、施工手順に従って取り付けてください。

<HE38・HE39-①>

パブリックコンパクト便器 フラッシュタンク式

<タンク品番>

SP495系 SP496系 SP498系

<HE38・HE39-②>

ビューレスト/ビューレストEX/ビューレストQR（一般地・寒冷地）/ビューレストMR

<タンク品番>

SH320系 SH332系 SH400系 SH232系
SH321系 SH333系 SH401系 SH233系
SH330系 SH334系 SH230系 SH214BA系
SH331系 SH335系 SH231系 SH215BA系

パブリックコンパクト便器 タンク式

<タンク品番>

SH596系 SH597系 SH598系 SH599系

施工の流れ

<HE38・HE39-①>

パブリックコンパクト便器 フラッシュタンク式の場合

P8～12を参照してください。

<HE38・HE39-②>

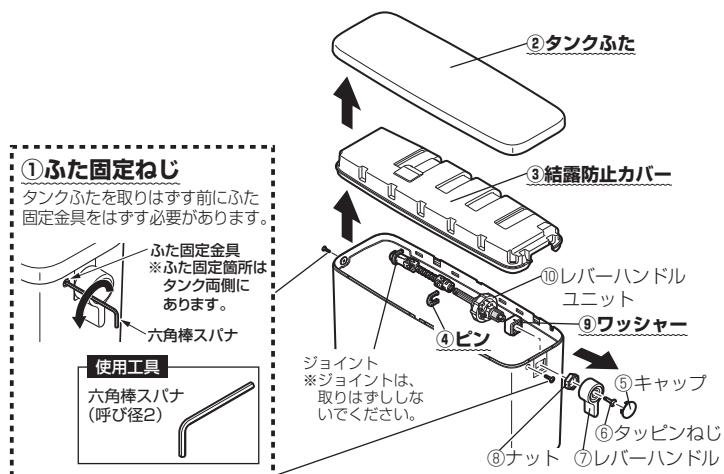
ビューレスト/ビューレストEX/ビューレストQR（一般地・寒冷地）/ビューレストMR/パブリックコンパクト便器 タンク式の場合

P13～17を参照してください。

パブリックコンパクト便器 フラッシュタンク式の場合

1 既存ハンドルの取り外し

- ① 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く。
 - ② 各部品を取り外す。（下記参照）
- ・①～④、⑨の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。

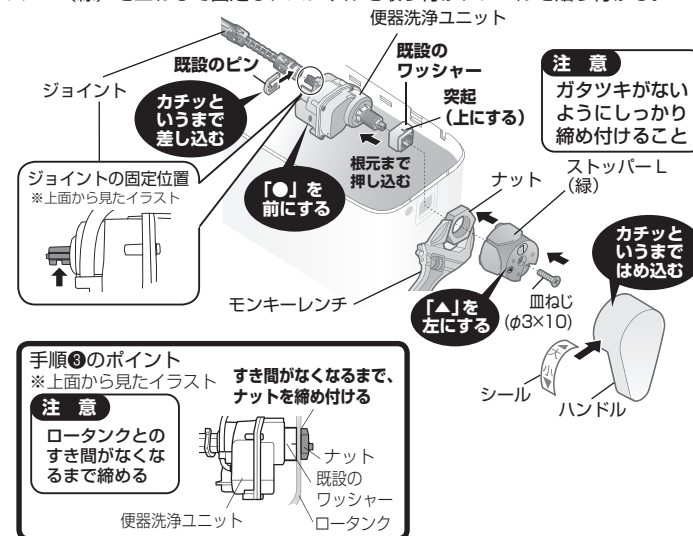


取付方法（便器洗浄ユニット）

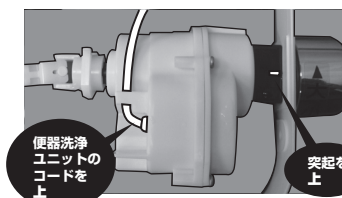
パブリックコンパクト便器 フラッシュタンク式の場合

2 便器洗浄ユニットの取り付け

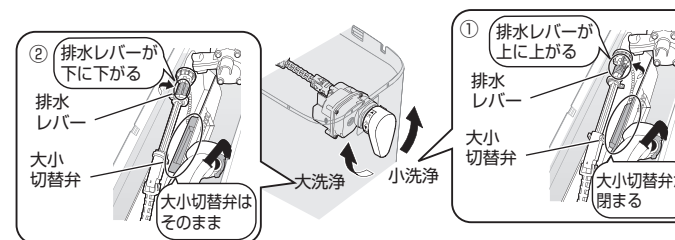
- ① 既設のワッシャーをはめ込む。
- ② 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む。
- ③ ナットをモンキーレンチで締め付ける。
- ④ ジョイントをはめ、既設のピンで固定する。
- ⑤ ストッパーL（緑）を皿ねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける。



- ⑥ 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する。

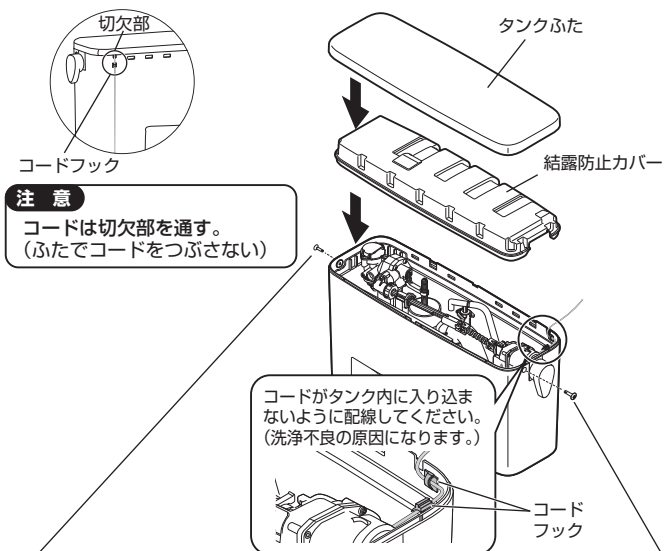


- ⑦ ハンドルを動かして確認する。
- ① 排水レバーと切替弁が引き上がる。
 - ② 排水レバーが押し下がる。
 - ③ ハンドルが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
 - ④ レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
 - ⑤ ハンドルを「大」側に回したときは、排水弁のみが引き上がること。
 - ⑥ ハンドルを「小」側に回したときは、排水弁・切替弁が引き上がること。



パブリックコンパクト便器 フラッシュタンク式の場合

③ コードフックの取り付けとコードの配線

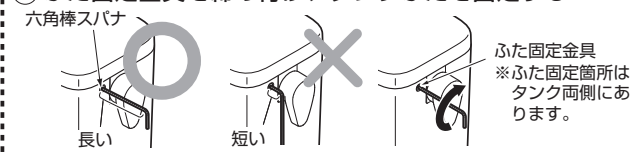


注意
コードは切欠部を通す。
(ふたでコードをつぶさない)

コードがタンク内に入り込まないように配線してください。
(洗浄不良の原因になります。)

ふた固定ねじ

① ふた固定金具を締め付け、タンクふたを固定する



注意

！ ねじの締め込み過ぎに注意する
締め込み過ぎると、フラッシュタンクやボルト
が破損し、けがをするおそれがあります。

注意

ボルトの締め付けは、
両側均一になるように
締め付けてください。
片側だけを締め付けると
タンクふたがズれる
おそれがあります。

パブリックコンパクト便器 フラッシュタンク式の場合

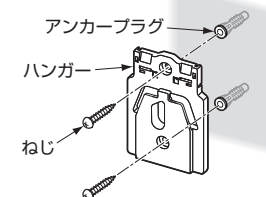
④ コードの配線

① ハンガーの固定板取付位置（左右2カ所）に固定板を差し込む。



② ハンガーをねじで壁に取り付ける。

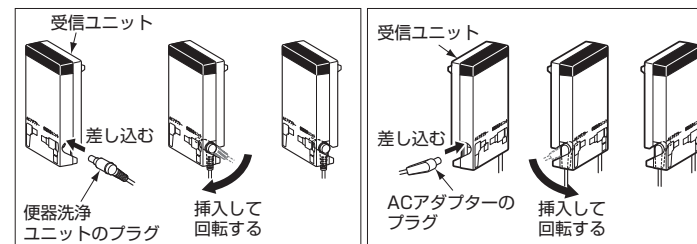
- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



③ 便器洗浄ユニットのプラグとACアダプターのプラグを受信ユニットに差し込む。

① それぞれのプラグを受信ユニットに差し込む。（下図参照）

② 下に回転させ、カバー内に収める。

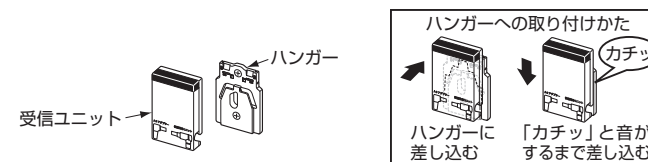


注意



プラグを逆に差し込まない
壊れる可能性があります。

④ 受信ユニットをハンガーにセットする。



パブリックコンパクト便器 フラッシュタンク式の場合

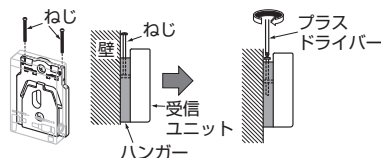
4 コードの配線（つづき）

⑤ 固定板の穴にねじを差し込み、プラスドライバーで止まるまで締める。

※容易に外したい場合は、ねじを固定せずにご使用ください。

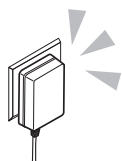
※プラスドライバーは、先端が細めのタイプ（ビットサイズ：No.1または精密ドライバー）を使用してください。

※ねじが止まったあとも、さらに締め付けると、ハンガーなどが破損するおそれがあります。



⑥ ACアダプターをコンセントに差し込む。

ACアダプターの差し込みプラグを根元まで確実にコンセントに差し込む。



⚠ 警告



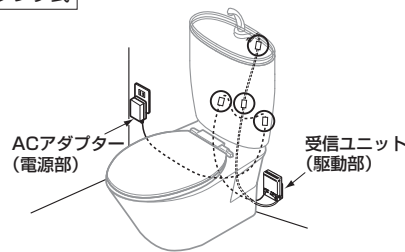
必ず実行

ACアダプターは、必ずコードが下向きになるように取り付ける

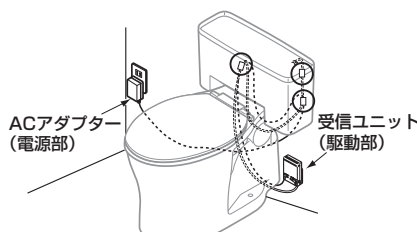
コードを上向きに取り付けると、ACアダプターの差し込みがあまくなり、感電の原因になります。

コードフックの取り付け時に余ったコードフックは、配線がたるまないように貼り付けて使用してください。

タンク式



フラッシュタンク式



※上図はタンクと壁の間のコード配置例です。

※取り付けにくい場合は、周囲に水が飛び散らないよう注意し、タンクを外して作業を行ってください。

ピュアレスト／ピュアレストEX／ピュアレストQR（一般地・寒冷地）／ピュアレストMR・パブリックコンパクト便器 タンク式の場合

1 既存ハンドルの取り外し

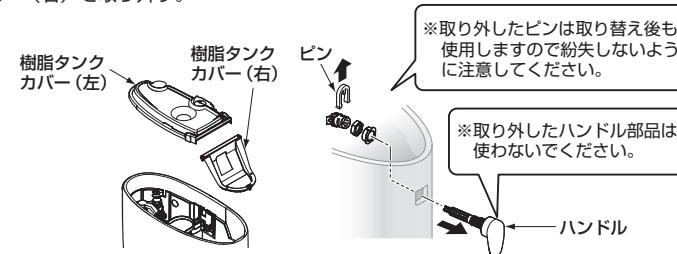
① 止水栓を閉めてロータンク内の水を抜く。

② ロータンクふたと樹脂タンクカバー（左）を取り外す。

※流動方式の場合は、流動レバーを外さないと、樹脂タンクカバー（左）が外せないようになっています。

③ 既設のハンドルを取り外す。

④ 樹脂タンクカバー（右）を取り外す。



※取り外したピンは取り替え後も使用しますので紛失しないように注意してください。

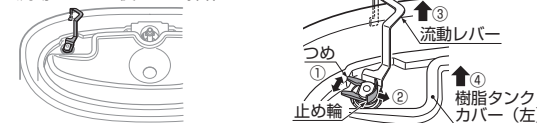
※取り外したハンドル部品は使わないでください。

流動方式の場合

商品によって流動レバーの形状が異なります。

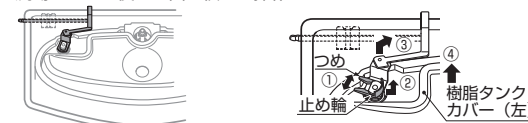
〈パターンAの場合〉

流動レバーを後ろから操作するタイプ



〈パターンBの場合〉

流動レバーが後ろに出て横から操作するタイプ

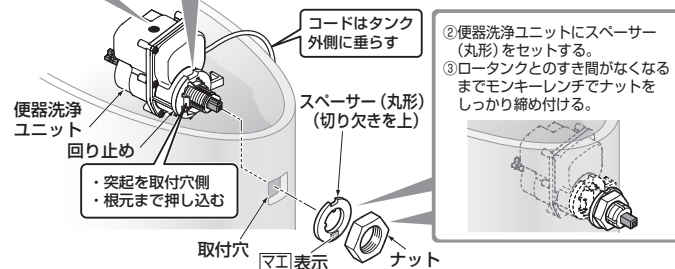
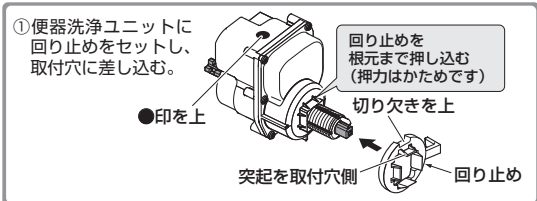


- ① 止め輪のつめ部分を広げます。
- ② 止め輪をスライドさせ、外します。
- ③ 流動レバーを外します。
- ④ 樹脂タンクカバー（左）を持ち上げて外します。

ピュアレスト／ピュアレストEX／ピュアレストQR（一般地・寒冷地）／
ピュアレストMR・パブリックコンパクト便器 タンク式の場合

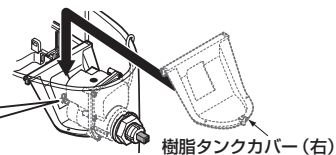
2 便器洗浄ユニットの取り付け

①便器洗浄ユニットの●印を上にしてロータンクに取り付ける。

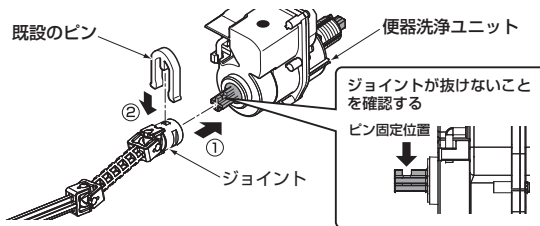


②外した樹脂タンクカバー（右）を取り付ける。

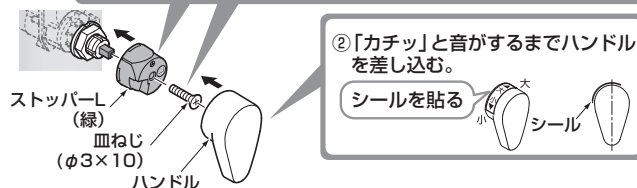
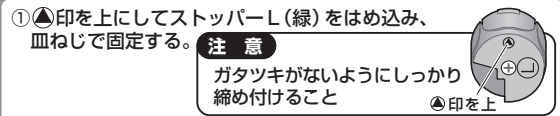
※ユニット本体に通して取り付ける



③便器洗浄ユニットのピン固定位置までジョイントを差し込みピンで固定する。



④ハンドルを取り付ける。

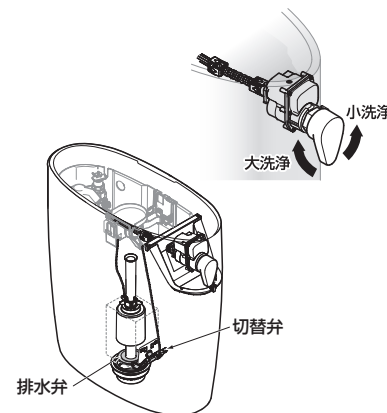


ピュアレスト／ピュアレストEX／ピュアレストQR（一般地・寒冷地）／
ピュアレストMR・パブリックコンパクト便器 タンク式の場合

2 便器洗浄ユニットの取り付け (つづき)

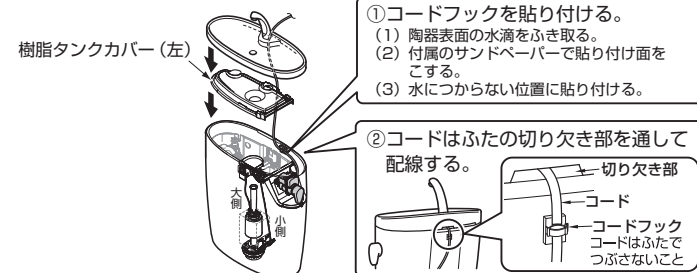
①ハンドルと排水弁の動作を確認する。

- ①ハンドルが「大」側、「小」側へ正常に動作すること。
- ②レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
- ③ハンドルを「大」側に回したときは、排水弁のみが引き上がること。
- ④ハンドルを「小」側に回したときは、排水弁・切替弁が引き上がること。



3 コードフックの取り付けとコードの配線

①コードフックを取り付け、コードを配線する。



ピュアレスト／ピュアレストEX／ピュアレストQR（一般地・寒冷地）／
ピュアレストMR・パブリックコンパクト便器 タンク式の場合

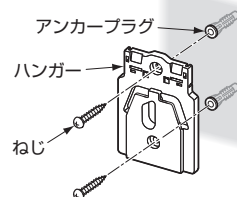
4 コードの配線

①ハンガーの固定板取付位置（左右2カ所）に固定板を差し込む。



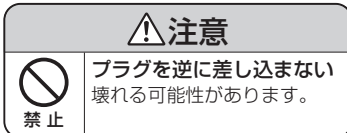
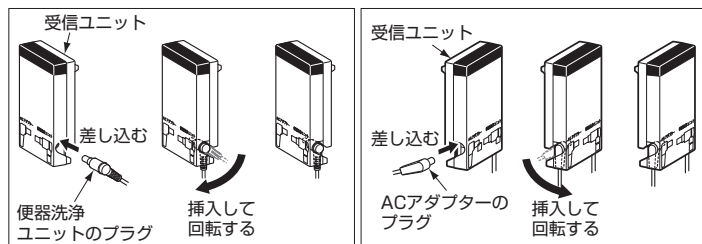
②ハンガーをねじで壁に取り付ける。

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

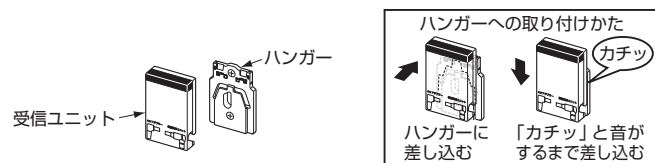


③便器洗浄ユニットのプラグとACアダプターのプラグを受信ユニットに差し込む。

- それぞれのプラグを受信ユニットに差し込む。（下図参照）
- 下に回転させ、カバー内に収める。



④受信ユニットをハンガーにセットする。



ピュアレスト／ピュアレストEX／ピュアレストQR（一般地・寒冷地）／
ピュアレストMR・パブリックコンパクト便器 タンク式の場合

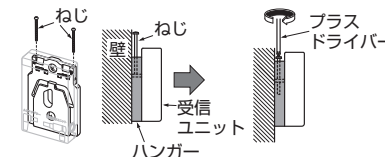
4 コードの配線（つづき）

⑤固定板の穴にねじを差し込み、プラスドライバーで止まるまで締める。

※容易に外したい場合は、ねじを固定せずに使用ください。

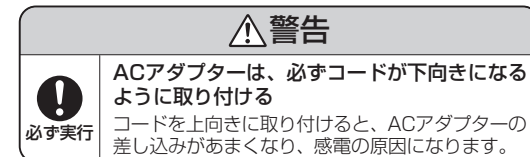
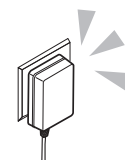
※プラスドライバーは、先端が細めのタイプ（ビットサイズ：No.1または精密ドライバー）を使用してください。

※ねじが止まったあとも、さらに締め付けると、ハンガーなどが破損するおそれがあります。

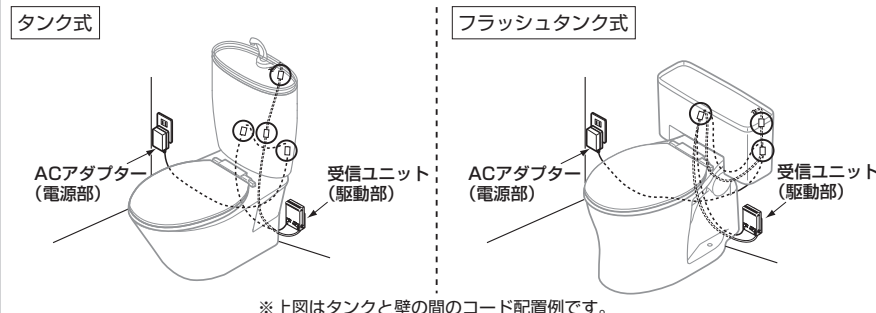


⑥ACアダプターをコンセントに差し込む。

ACアダプターの差し込みプラグを根元まで確実にコンセントに差し込む。



コードフックの取り付け時に余ったコードフックは、
配線がたるまないように貼り付けて使用してください。



※上図はタンクと壁の間のコード配置例です。

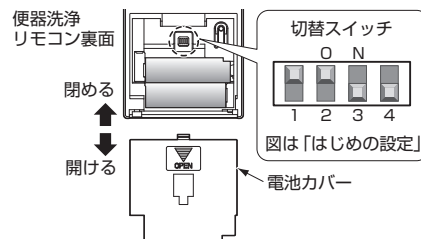
※取り付けにくい場合は、周囲に水が飛び散らないよう注意し、タンクを外して作業を行ってください。

センサースイッチの切替スイッチの調節

人や障害物をセンサーが検知して、意図せず便器洗浄することがあります。
下記手順でセンサーの設定を変更すると、改善されることがあります。

設定変更の仕方

①便器洗浄リモコン裏面の電池カバーを開ける。



②＜検知距離の設定＞
検知範囲を狭めます。



※上記の設定後、状況が改善されない場合のみ
次の設定を行ってください。

＜手かざし時間の切替方法＞
検知するまでの時間を長くします。



③便器洗浄リモコン裏面の電池カバーを閉める。

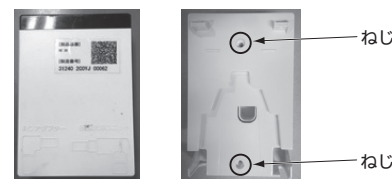
受信ユニットの切替スイッチの調節

お使いになる方にあわせて下記の設定変更ができます。

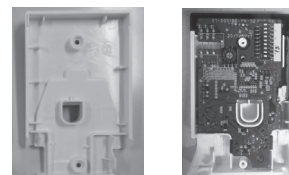
※設定を行うには、受信ユニットの取り外し、便器洗浄ユニット、ACアダプターのプラグを抜いてください。

設定の種類	設定できる変更	備考
設備保護洗浄	設備保護洗浄 する/しない 入/切 (工場出荷時は「入」)	※過去24時間に一度も洗浄が行われていない場合は、大便器の配管を保護するため、自動的に保護洗浄を行います。

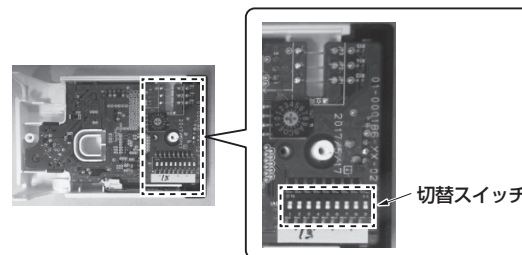
①ドライバーを使用し、受信ユニット表面のねじ
(2カ所)を取り外す。



②カバーを開ける。



③切替スイッチを調節する。



＜設備保護洗浄の切替方法＞

スイッチ1を切り替えることで、設備保護洗浄を「入」か「切」に設定できます。



誤ってスイッチを切り替えた場合はスイッチ2～8はOFFに、スイッチ9はONに必ず戻してください。